

マイクで音声録音

Presented by: **Add Komoncharoensiri**



概要

コンピュータの内臓マイクを使用し、録音した音声ファイルを添付ファイルにしてボイスメールを送信したり、他のユーザー（クライアント）と共有したり例題です。接続していなかったユーザーの『受信ボックス』にボイスメールを残すこともできます。

テクノロジー

サウンド入力の録音には、**SoX** (Mac) または**FFmpeg** (Windows) を使用しています。
(Macは、FFmpegでWAVからMP3にサウンドファイルを変換しています。) MP3ファイルの再生には、**afplay** (Mac) または**PLAY**コマンド (Windows) を使用しています。MacでPLAYコマンドを使用しないのは、再生をストップできるようにするためです。

インストール

コンポーネントは、v15以降のアプリケーションにインストールすることができます。録音データは、ローカルのファイルシステム上で管理され、ホストアプリケーションのデータベースにはアクセスしません。ユーザー/グループの仕組みと連動させるためには、On Startupでカレントユーザー名およびユーザーリストを初期化メソッドに渡します。

```
ARRAY TEXT(userName_at;0)
ARRAY LONGINT(userNum_al;0)
GET USER LIST(userName_at;userNum_al)
vm_userInitialize (Current user)
vm_userListInitialize (->userName_at)
```

「新着ボイスメール」の通知を表示する確認メソッド（3秒間隔で実行）を開始します。このメソッドはローカルの配列をスキャンするだけで、ネットワークにはアクセスしません。通知そのものはEXECUTE ON CLIENTでサーバーからプッシュされるようになっています。

vm_notifyNewVoiceMail

SMTPの設定も初期化メソッドで設定することができます。

```
smtpSettingsDefine ("smtp.gmail.com";\
"name@gmail.com";"password";"name@gmail.com";1;465)
```